

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

市民への表彰と市の歌について

(質問) 長年に渡り道路の美化や様々なボランティアを個々でされている方々にも感謝とお礼と今後の励みになるよう市の表彰規定を緩和し感謝状などを授与する事は出来ないか。また、市民の一体感と地域への愛着を育むことを目指し新しい市の歌を作成出来ないか。

(答弁) 市政功勞表彰は行政事務に関わりの深

い方々を中心に5年毎の市制記念日に行っている。しかし、その他様々な分野でひたむきに頑張っている方々にも功績を讃えられるよう制度のあり方を検討していきたい。市の歌の制作には現在ある市民歌を広める取り組みを引き続き進める中で市民の皆様のご意見も伺い機運の高まりも見ながら新たな市の歌の必要性について検証をしていきたい。

その他の質問 ○自殺対策について
○「2分の1成人式」について
○婚活支援事業について

市民クラブ 原田 勝二 議員

伊勢若松駅のエレベーターについて

(質問) (1)伊勢若松駅バリアフリー化事業について、事業内容の詳細を問う。

(答弁) 国の平成25年度補正予算にて、「地域公共交通確保維持改善事業」に採択され、総事業費6億円の予定。事業の推進は近畿日本鉄道が行う。事業概要は、跨線橋を新設。エレベーターを3台設置。駅舎のトイレを障がい者対応のトイレと

し、駅舎側エレベーター付近に新設。既存階段の手すりを二段化する。駅構内の案内図は点字を表示したものに整備。転落防止対策としてホームに警告ブロックを設置。今回の国の補助採択は、詳細設計に対してであり、平成27年度に予定される工事には改めて国へ補助申請と採択が必要。

その他の質問
○なわて道、通学路の
防犯灯について



平明の会 宮木 健 議員

子ども・子育て支援事業について

(質問) 平成27年度子ども・子育て支援新制度との整合性について、現在の保育所入所要件や、つどいの広場事業、または、低年齢児保育推進事業費補助金など各種補助金の状況を踏まえて新制度開始にあたり不合理なことになっていないか。特に低年齢児保育推進については、施政方針にも掲げている。どのように対応しているのか。

(答弁) 保育の要件については、現在国の子ども・子育て会議において審議中である。低年齢児保育推進事業など各種補助についても子ども・子育て会議において審議中であるが、公的価格から保育料を差し引いた額になる予定。

地域別の考慮を充分検証していけるよう非常にタイトなスケジュールであるが、迅速な情報収集に努め、より充実した保育サービスが提供できるように取り組んでいく。

その他の質問 ○保育事業について

市民クラブ 中村 浩 議員

Cバスについてのパート17

(質問) 西部路線、南部路線の運行に際して、市民の運行の依頼と真意をどのように把握したのか。市民のニーズを把握するためにアンケートを実施してはどうか。また、今後の対応についてを問う。

(答弁) Cバスの運行に際しては、高齢化率の高い地域特性などを考慮して運行地域を選定し、

その地域の高齢の女性など移動制約者を中心に、グループインタビューを実施しニーズを把握した。コミュニティ交通に関するアンケートは、Cバス導入時と同様に、運行対象地域に限定し行っている。

今後の対応については、鈴鹿市公共交通総合連携計画に基づき、地域公共交通のあり方として、小規模需要に対応した新しい交通サービスを検討していく。

その他の質問 ○防災スピーカーについて6
○改革、改善活動の取組について